



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

## 主要財政指数から見る 改善策と公共施設の今後は

村中町長

### 行政の効率化に取り組むとともに 自主財源の確保に努める



さとう よしひこ  
佐藤 良彦 議員

■答弁・村中町長  
①本町の財政力指数は、人口の減少や基幹産業である農業収入の減少、また、地理的条件による商工業の購買力流出、自主財源である町税の伸び悩みが、指数低迷の大きな要因となっております。

②早急に改善すべき取り組みについて  
③既に取り組んでいる事項の進捗について  
また、公共施設の維持費は財政を圧迫していると考えますが、行政として老朽化や使用者減などの理由で存続、廃止の計画または検討をしている公共施設等について考えをお聞かせください。

②本町では近年、経常経費や社会保障にかかる経費の増加、大型建設事業による公債費の増加などにより、実質単年度収支が赤字となり、歳入不足補てんを目的とした財政調整基金の取り崩しが続いている状況です。今後も高齢化や生産年齢人口の減少が予想され、経常経費の削減や既存事業の統廃合、町単独事業の抑制による歳出のさらなる削減と行政の効率化に取り組むとともに、国庫補助金や交付金などの財源確保や、ふるさ

と納税などの自主財源の確保に努める必要があります。  
③経常経費の抑制については政策連携会議を実施し、横断的に事業の統廃合などに取り組んでいます。人件費については増加傾向にあります。定員管理計画を策定し、定員の適正化に努め、維持管理費については、公共施設等の老朽化対策の経費も見込まれることから、現在策定中の公共施設等総合管理計画に沿って、適正な施設管理を行ってまいります。  
自主財源の確保に向けては、ふるさと納税の強化を図るため、本年度から担当部署を商工観光課経済活性化係に移管し、比布町が持つ資源や素材の掘り起こし、新たな特産品開発支援を進めています。ふるさと納税の強化により本町の魅力や価値を全国に広め、さらなる関係人口の拡大につなげます。  
また、現在策定中の公共施設等総合管理計画において、財政状況の予測や将来のニーズの把握をしっかりと行い、中長期的な視点で施設を再編、統廃合していくことが望ましいと考えます。公共施設の運営や管理方法を改善するなど、効率性の視点からの検討と、施設使用料の見直しや広告・スポンサーシップの活用など、収入面での検討も必要と考えます。



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

## 比布町重度障がい者（児） 交通費助成事業の拡充を

村中町長

### 利用者の利便性向上のため 必要な適用事業者を検討する



えんどう はるこ  
遠藤 ハル子 議員

■答弁・村中町長  
事業者が増えることは利便性の向上にもつながり、社会参加の促進という事業の目的にも有益なことだと思っております。利用者から要望等の聞き取りを行い、必要な適用事業者について検討します。  
■遠藤議員 他町の場合、障がい者の移動手段の他に、家族に車の所有者がいない80歳以上の高齢者、また、65歳以上で運転免許証を返上した方の移動手段としても介護・福祉タクシーが利用されています。  
■村中町長 町全体の公共交通体系に関わりますので、全体を通して

■質問・遠藤議員  
事業実施要綱の目的として「心身に重度の障がい有する障がい者（児）が、ハイヤー及びバスを利用する場合の費用又は自家用車燃料の費用を助成し、もって社会参加の促進を図り福祉の増進に資する」とあります。  
近年は介護・福祉タクシーの事業者も多く存在し、本町も営業範囲であると思われまますので、利便性向上のためにも助成券の適用事業者を公募してはいかがでしょうか。  
また、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方が助成券を利用できる会社は、道北バス様と規定されていますが、この利用制限についても見直しが必要と考えます。

■村中町長 第13次まちづくり計画の基本構想に基づき、「男女共同参画週間」の実施される6月には、広報紙にて啓発に努め、基本計画には、女性委員の積極的な登用促進を図ることや家庭、地域、学校、事業所などにおいて男女共同参画の啓発や男性の家事、育児、介護への参加、女性の出産・育児と仕事の両立、地域や社会への参画がしやすい環境整備の充実に努め、女性活躍に関する課題の把握を行い、ワークライフバランスの実現に向けて努めることなどを登載していますので、基本計画期間の前期5年間で既存事業の検証や環境

■遠藤議員 国では、男女共同参画社会基本法の公布・施行日である6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」としています。  
町は「男女共同参画週間」をどのように企画するのか町長に伺います。

整備の推進を図るなど、男女共同参画社会の促進に努めていきます。  
■遠藤議員 男女平等の視点で、図書コーナーに本やビデオを置くなど、ジェンダー感を醸成させる努力も日常的には必要です。  
■村中町長 男女平等参画週間に限らず、様々な周知期間等に合わせ、図書館にコーナーを設けて周知することは良い取り組みだと思えます。

■防 災関連部署に女性職員を  
防災会議に女性委員を  
■遠藤議員 女性の視点としての備蓄品、介護用品、生理用ナプキン、妊産婦・乳児用品の備蓄不足や安心して着替えができる場所がないなど、防災部署に女性職員を配置することが重要です。また、防災会議にも女性委員が入り、女性の意見が反映された避難所運営マニュアルが必要と考えます。  
■村中町長 備蓄品については、足りているという基準は特にありませんが、一定程度の備蓄品は毎年度の予算の中で揃えている状況です。  
避難所の運営は保健福祉課が担当になりますので、保健師がその中に入ります。また、防災会議にも事務局やアドバイザーとして参加することは可能ですので今後検討したいと思えます。